

新しい学校給食センターが田村にできました。9月から市内の小・中学校に、安心・安全でおいしい給食を届けるために、準備が進んでいます。今号では、中学校の完全給食開始に向けた取り組みや、高度な衛生管理ができる施設の特徴、子どもたちの健康を支えるために、どのように献立が考えられているのかなどを紹介します。

広報 2024 8 月
No.1253 第3金曜日号

ひらつか



新学校給食センター完成



調理場を探検

食材や調理工程ごとに区切られている調理エリア。野菜が給食になるまでの経路を見てみましょう。

- ① 食材の荷受室。隣接する検収室では、仕分けや異物混入の点検、鮮度の確認などをする
- ② 球根類などの皮をむく皮むき室
- ③ 野菜下処理室。3層シンクで丁寧に洗う。果物などは除菌・消臭効果などがある微酸性電解水を使用する
- ④ 食材を切り、仕分ける上処理コーナー
- ⑤ 揚げ物・焼物・蒸し物室
- ⑥ 一つの窯で最大1,000食作れる煮炊き調理室。冷たいおかずは和え物室で作る
- ⑦ コンテナ室。学校ごとに給食をコンテナに入れる。その後トラックで配送



目次

1～3面…**特集** 中学校で完全給食スタート…新しい学校給食センターが完成し、中学校完全給食が始まります。開始に向けた取り組みや、高度な衛生管理ができる施設の特徴などを紹介します。

4～7面…募集・お知らせ・健康と福祉

8面…「ひらつかTopics」「市長コラム」
広報ひらつかのPDF版は市ウェブからご覧いただけます。
アプリ「マチイロ」や「Catalog Pocket(10言語対応)」からも最新版がご覧いただけます。

●発行 平塚市 ●編集 広報課 ●法人番号 3000020142034 〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号 ☎0463-23-1111 FAX 0463-23-9467

●配布のお問い合わせは、ミッド ☎0120-350311 (月～金曜日、午前9時30分～午後5時)



平塚農産物PRキャラクター「ベジ太」が描かれた配送トラックが、新しい学校給食センターから学校に給食を届けます

中学校で完全給食スタート

成長期の子どもたちが元気に学校生活を送るために欠かせない、昼食での栄養摂取。かねてニーズの高かった中学校完全給食が、9月から始まります。小学校からの9年間、栄養バランスの取れた適温の給食で、子どもたちの成長を支えていきます。

＝ 学校給食課 ☎35-8119

成長期の9年間を支える

近年、社会の変化から、食生活を取り巻く環境は大きく変わってきました。子どもたちの食をめぐっては、朝食の欠食・肥満・過度なダイエット、貧困による栄養不足などが問題視されています。「子どもたちの生活環境はさまざまです。その中で、昼食でしっかりと適正な栄養価を取ることは、成長期の子どものにとってとても重要です」と話すのは、市学校給食課の給食運営担当長で、栄養士の伊藤淑江さん(右下写真)。「小学校と同様の完全給食が、中学校でも始まります。成長に合わせた栄養価が取れる給食で、子どもたちの心身の成長を支えていきます」と続けます。

ミルク給食と補完策

平塚での給食の始まりは昭和25年。提供方式などを順次検討しながら、施設整備や内容の充実を進めてきました(右下表)。現在、全28の小中学校で主食・おかず・牛乳の完全給食が提供されています。中学校では、完全給食を希望する声はかねてあったものの、子どもの安全に関わる学校施設の整備を優先するなどの理由から、実現するには難しい状況が続いていました。中学校では、牛乳だけを提供し、各家庭から弁当を持参



してもらったミルク給食が昭和37年に始まりました。その中で、保護者の負担軽減のため、平成27年度から、ミルク給食と業者弁当販売の併用を、15の中学校で始めました。伊藤さんは「当日の朝に注文できるので、お弁当の持参が難しい日でも、生徒の昼食を確保できるシステムです」と説明します。しかし、業者弁当の併用はあくまで補完策。毎日食べる想定はしていないため、バリエーションなどが限られています。保護者向けの業者弁当販売のアンケートなどでも、完全給食を望む声が変わらず上がっていました。「社会情勢や市民からの要望の声を受け、市で検討を重ねた結果、令和元年から中学校での完全給食の実現に向けた事業が動き始めました」。

学校の日常にする準備

中学校の完全給食を開始するためには、運用面と施設面の体制を整える必要があります。その一つが中学校の受け入れ体制です。市で始まる中学校の完全給食は、共同調

平塚の学校給食の歩み

昭和25年	小学校でパン給食開始
26年	小学校で週5回完全給食開始(単独調理場での調理)
37年	中学校でミルク給食開始
47年	東部学校給食調理場を開設
50年	北部学校給食調理場を開設
57年	米飯給食が開始
平成15～19年	一部の中学校で業者弁当販売を導入
27年	15の中学校で業者弁当販売の併用を開始
令和6年	新学校給食センターが完成し、中学校で完全給食開始 調理は、15の中学校と21の小学校を同センター、7の小学校は単独調理場

中学校でも整う準備

市内の15の中学校に、配送された給食などを受け入れる「受入室」、クラスごとに積み替えた配膳ワゴンを各階に送る「小荷物専用昇降機」、給食時間まで各階で安全に給食を保管する「配膳室」が整備されました。受入室前は、配送トラックを止められる十分な広さがあります。

新しい日常に向けて、進む生徒への指導

各中学校では、9月2日(月)からの「給食を食べる」という新しい日常に向け、生徒にさまざまな指導をしています。ミルク給食とは違い、給食当番の生徒たちが盛り付けや片付けをする完全給食。給食を配膳する給食当番は、衛生面での準備が大切です。小学校の給食当番は、学校が用意する給食用白衣と帽子を着用していますが、中学校の給食当番は、各家庭で用意したエプロン・三角巾またはバンダナ・マスクを着用します。対象の家庭では、エプロン・三角巾またはバンダナ・マスクと、これら3点を入れる袋の準備をお願いします。

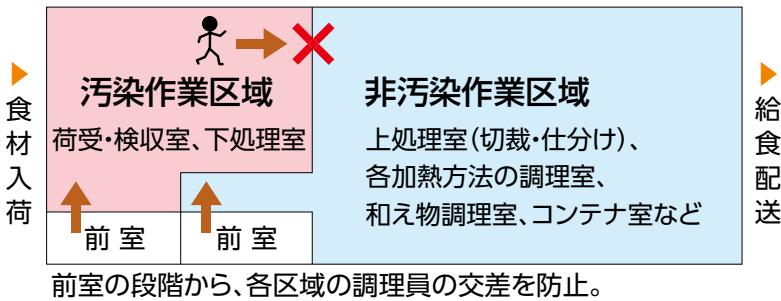


(上)「受入室」や「配膳室」などが増築された江陽中学校(浅間町8-1)
(下)各階に配膳ワゴンなどを送る「小荷物専用昇降機」

1日約1万5,000食を作って届ける

学校給食センター

① 徹底したリスク管理



食材入荷の段階から配送まで、小・中学校のエリアは壁で隔ててあります。それぞれのエリアは、汚染作業区域・非汚染作業区域に分かれており、各区域間を人が行き来できない造りです(上図)。また、食材の荷受け・調理・配送までは、後戻りできない調理動線を確認するなどして、衛生管理を徹底しています。

② 二つの新たな設備



専用調理室で食物アレルギー対応を強化

他の調理エリアと分けし、食物アレルギー対応食専用の調理室を設置(左上写真)。アレルギー対応食に必要な食材は、専任の調理員が全ての調理の1番始めに受け取り、全工程の調理をします(右上写真)。個別の調理台が室内に4カ所あり、調理後は1人分ずつ個別容器に配食します。

平塚市の食物アレルギー対応食は、特定原材料8品目のうち、卵・乳・乳製品・エビを含まない除去食です。卵・乳・乳製品を含むパンの代替え食として、米粉パンなどを提供します。また全ての調理場で、そば・落花生は最初から使用しない材料としています。

週4で炊き立ての米飯給食を提供



炊飯設備を導入しました。米の計量・送米・浸水(左写真)までは自動予約で運転可能。各工程で最適な火力調整ができる連続炊飯システムで加熱し、炊き立てのおいしい米飯給食を作ります。

今までの委託炊飯では、米飯給食の提供には上限があり、週3回程度でした。調理場内に炊飯設備があることで、米飯給食を週4回程度に増やします。白米だけでなく、まぜご飯や炊き込みご飯なども調理できるようになることで、献立の充実につながっていきます。

施設内を見学しませんか？

学校給食センター2階の内覧会です。調理場内の説明や調理・衛生体験エリアでの体験をする他、見学窓(下写真)から調理室などが見学できます。当日、受け付け順にグループを作り、15分間隔で見学します。

8月23日(金)午後2時30分～4時(受け付けは3時30分まで)。学校給食センター(田村9-23-1)。室内履き。



すでに完全給食だった市内の小学校では、7校が校内にある単独調理場、21校が東八幡と田村にある東部・北部共同調理場で作った給食を提供していました。しかし、二つの共同調理場は、著しい老朽化や耐震性能不足などの課題を抱えており、対応が急がれました。

そこで検討されたのが、中学校給食の開始に併せて、2場を統合・移転するという方法です。伊藤さんは「安心・安全・安定的に給食を提供するために、21の小学校と15の中学校へ給食を届ける、新しい共同調理場(学校給食セン

高度な衛生管理

新学校給食センターは、学校給食衛生管理基準や、国際的な衛生管理の手法「HACCP」の概念に基づいて、整備されています。既存の共同調理場よりも高度な衛生管理ができるようになります。

「平塚市では現場の徹底した衛生管理によって、給食の事故などは起きていません

が、今回、施設・設備が整ったことで、より衛生面で安心できる環境になりました」と伊藤さんは説明します。汚染の原因となる水を床に落とさず作業できる構造のドライシステム方式にしたり、納品や下処理をする区域と、下ごしらえや調理をする区域を明確に分けたり(左囲み①)と、交差汚染などを防げる施設になっています。食物アレルギー対応食調理室や炊飯設備といった、今まではなかった設備も同センターの特徴です(左囲み②)。

地元への愛着につなぐ

高断熱性、保温・保冷に優れた食缶を使い、適温で提供される給食。献立は、伊藤さんや小・中学校の各給食を担当する栄養士(下囲み)、学校



セタ飾り(左)と「ベジ太」のイラスト付きの食器

栄養満点の献立作り



国の学校給食摂取基準を守りながら、食材・味付け、食事の量、調理方法など、さまざまな配慮をして作られる献立。給食では、普段の食事でも不足しがちなカルシウムと鉄を多く取るように考えられています。小学校給食を担当する石橋茜栄養士(写真左)は「カルシウムも鉄も多く含む大豆や大豆製品を取り入れています。ゆでた大豆を揚げて青のりなどで味付けした『青のり大豆』が人気です」とおいしく食べてもらう工夫を話します。また野菜は、カルシウムを多く含む小松菜もよく使うそう。「平塚は小松菜が多く取れるので、年間を通して、スープや炒め物、サラダなど、たくさんの料理に使っています」と話します。小松菜以外にも平塚産米「はるみ」など、平塚産の食材を積極的に使っています。今年度は「ベジ太のジャージャー麺(平塚産小麦の麺・きゅうりともやしのあえ物)」などの平塚独自のメニューを提供していく予定です。

必要な栄養価は、子どもの成長につれて増えていきます。中学校給食を担当する釣谷沙弥香栄養士(写真右)は「中学校の献立は、小学校の献立の量をただ増やすだけではなく、栄養バランスと食べやすさを考えながら、使う食材を追加したり1品増やしたり、工夫して作っています」と説明します。給食は、実際に食べながら栄養や健康、食文化などを学べる「生きた食育の教材」です。季節の食材を使ったり、日本の郷土料理や世界の料理などを取り入れたり、さまざまな献立で学びにつなげていきます。「食べた物が自分の体を作ります。自ら食事を管理し、豊かで楽しい食生活を送れるようになってほしいと思います」。

公園の名称を考えませんが

令和7年秋ごろのオープンを目指す、湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーンの公園名称を募集します。市内在住・在勤・在学の方が対象で、1人1案まで応募できます。令和6年11月ごろに、名称候補の市民投票をします。注意事項など、詳しくは市ウェブをご覧ください。

募集 必要事項・名称案(ふりがな)・名称案に込めた思いを、直接、9月30日(月)までに、本館6階の**みどり公園・水辺課** ☎21-9852へ。 

昆虫観察会
里山に生息する昆虫を探しませんか。市内で昆虫の調査をしている、ひらつか生物多様性推進協議会の会員が案内します。
9月14日(土)午前9時30分～11時。雨天中止。里山体験フィールド(土屋1076付近)。市内在住・在勤・在学の方20人(抽選・小学生以下は保護者同伴)。飲み物・帽子・筆記用具・虫捕り網・かご。

地域の行事にイベント用品を貸し出します
自治会や子ども会などが、触れ合い活動に使うイベント用品を貸し出します。貸出品は、ポップコーン機・綿菓子機・かき氷機・発電機・焼きそば台・焼き物器・おでん鍋・テント・ワイヤレスアンプとマイク。
10月～令和7年3月の先行予約を受け付けます。貸出期間は5日以内。抽選。先行予約期間の終了後は先着順。抽

募集

募集

応募方法は

- **募集**のある記事は事前に応募が必要です
- **必要事項**は郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号です
- 受付開始日の記載がない場合、**8月19日(月)午前8時30分**から、受け付けます
- メールの場合、以下に、city.hiratsuka.kanagawa.jpを付けてください
- の場合、電子申請システム(e-city.hiratsuka.kanagawa.jp)で応募できます。右の2次元コードからもアクセスできます
- 市役所への郵便物は、〒254-8686 平塚市役所〇〇課で届きます

応募方法



谷戸田で稲刈り体験
市民・大学・市で里山の再生を目指す交流事業「里地里山再生プロジェクト」です。里山の自然の中で、手作業での稲刈り(左写真)を体験しませんか。
9月28日(土)午前10時～午後1時。雨天の場合は29日

選に外れた場合、令和6年9月4日(水)までに連絡します。
募集 電話または直接、8月16日(金)～28日(水)に、本館7階の**協働推進課** ☎21-9618へ。
講座
今日から始めるSDGs
人や社会、地域や環境などに配慮した商品やサービスを選んで消費する「エシカル消費」を学びます。
9月28日(土)午前10時～正午。市民活動センター(見附町1-8)。市内在住の方30人(先着順)。筆記用具。
募集 講座名・氏名(ふりがな)・電話番号を、電話・メールで、8月20日(火)から、**市民情報相談課** ☎20-5775  conso@へ。

(日)に延期。里山体験フィールド(土屋1076付近)。市内在住の方50人(抽選・1組5人まで)。雨具・帽子・軍手・タオル・飲み物・着替えなど。作業のできる服装でお越しください。
募集 イベント名・代表者の**必要事項**・全員の氏名(ふりがな)・生年月日を、はがき・ファクス・メールで、8月30日(金)までに、**環境保全課** ☎23-969  k-hozen-event@へ。

河川敷の草原に集まるトンボなどの昆虫を調べます。
9月1日(日)午前9時～午後0時30分。雨天中止。相模川河川敷の馬入水辺の楽校風車前に集合。小学生以上の方10人(抽選・小学生は保護者同伴)。帽子・軍手・筆記用具・飲み物。1000円、中学生以下600円。
募集 代表者の**必要事項**・全員の氏名と年齢を、はがき・メールで、8月17日(土)～23日(金)に、〒257-0007 秦野市鶴巻

馬入水辺の楽校 生き物調べの会
職業興味検査で自分の関心などを分析し、仕事選びを考えます。
9月3日(火)午前10時30分～正午。勤労会館(追分1-24)。15～49歳の仕事を探している方4人(先着順)。2色ペン・定規。
募集 電話で、**県西部地域若者サポートステーション** ☎0465-32-4115へ。

自分に合った仕事を見つけませんか
156湘南いきもの楽校の露木 ☎77-0295  masam2025z@yahoo.co.jpへ。
多肉植物寄せ植え教室
好みの植物を選んで、寄せ植えを作ります。
9月5日(木)午前10時～正午。ひらつかサン・ライフアリーナ(中堂246-1)。24人(先着順)。室内履き・持ち帰り用の袋。1500円。
募集 電話で、8月19日(月)午前10時から、**馬入ふれあい公園管理事務所** ☎25-0011へ。

自己紹介の機会をもち、市内外の交流を図ります。
9月3日(火)～17日(火)、午前8時30分～午後5時。本館6階まちづくり政策課。本

市政情報は市公式のSNSでも配信しています

2次元コードからご確認ください



Facebook



Instagram



LINE

お知らせ

都市計画変更案の縦覧

相模川流域下水道の寒川平塚幹線、東浅間大島線、伊勢原大神線などの都市計画道路や、ツインシティ大神地区地区計画、生産緑地地区の都市計画の変更案が見られます。変更案に意見のある方は、縦覧期間中に意見書を提出できます。
9月3日(火)～17日(火)、

秋のバラフェスタ

バラの色や香りを楽しみませんか。バラの写真や絵の展示もあります。展示する写真や絵の募集・展示期間・条件など、詳しくは市ウェブをご覧ください。

10月26日(土)・27日(日)。旧横浜ゴム平塚製造所記念館。先着順。

秋のロマンチックコンサート チェロ、バイオリン、ピアノによる演奏です。26日午後2時開演。60人。3,500円。

多肉植物の寄せ植えを楽しもう 初心者でも簡単に作れます。27日午前10時30分～正午。15人。1,200円。

アフタヌーンティーの楽しみ方 紅茶のおいしい入れ方などを紹介します。27日午後2時～4時。15人。500円。

募集 必要事項・イベント名を、往復はがき・メールまたは直接、8月17日(土)から、〒254-0041 浅間町1-1 旧横浜ゴム平塚製造所記念館 ☎35-7114  yokan7114@outlook.jpへ。

す。詳しくは、市ウェブをご覧ください。
総合公園管理事務所 ☎35-2233

午前8時30分～午後5時。本館6階まちづくり政策課。本

まちづくり政策課 ☎21-8781

キャッシュレス決済が始まります
9月3日(火)から、トッケイセキリティ平塚総合体育館のトレーニングルーム利用券・温水プール利用券などが、電子マネーなどで支払えま

平塚駅周辺地区の将来構想の素案を作成しました。素案で示す、将来像を実現するための進め方などへの意見を聞き取ります。
①～④はパネルを展示して意見を聞きます⑤はパネル、

